

墓地 大連市青雲臺に市設大連共同墓地ありて、大正十五年三月市規則第十六號大連市共同墓地規則に依りて設置せらる。此の墓地に對しては將來葬祭場建設に關し調査研究の歩を進めつつあり。

屠場施設 屠場は大正十五年四月關東廳より移管に際し、

新改築條件を附せられたる爲、三ヶ年繼續を以て完成し、現在は附屬繋畜場なきを以て其の建設を考究中なり。尙大正十五年三月 規則第十四號大連屠場規則によりて設置せられ、一ヶ年四箇所に於て約五萬頭を取扱ふ。(未完)

田中好氏の「土木行政」を見て

谷 口 松 雄

路政僧のペンネームで本誌に毎號侃諤の論陣を張り、また輕快な筆致で隨筆めいた輕いものまで物せられつゝある内務省土木事務官田中好氏が、今度豫約出版による高等土木工學全集の第十八卷として土木行政を著された。高等土木工學は堅實なる土木技術員の指針として爲された近代の快出版であるが、技術用語と數字と理論とで充満された既刊十七卷の後を承けてカラリと趣の變つた土木行政の指南

書が、法律書臭くない平易な書きぶりで最終篇として出されたのである。これでこの全集に生々とした生彩が出た、所謂錦上更に花を加へたものである。本全集の監修を擔任せられた牧工學博士は『本全集は土木工學に關する各科目を綜合して斯界の進展に寄與せむとするのであつて、土木行政は其の部門外に屬するものであるが、土木工學を運用するに方つては土木行政の指示するところに依らなければ

ならぬ、故に活きた學問をするが爲には是非土木行政を學ぶことを要するので、本全集に土木行政篇を収めたのである。

本篇を何人に依頼して完成せしむべきかに就ては本全集計畫當初に於ける難題であつたが、田中好君の快諾を得て同君を煩すに至つた。田中君は私が紹介するまでもなく永年内務省土木局に事務官として職を奉じ、我が土木行政の權威として普く人の知るところである、殊に君の研究心の旺盛なことは有名であつて、此の勢力の下に執筆の責任を果して呉れることと思つたが、一面氏の近状を見ると極めて繁忙な路政を擔任しながら各種の公益團體の事業に關係し本全集の編輯にも奔走する氏が、克く本篇を完成して呉れるかは少し疑問であつたが、豫約期日を遅延したとは言ふものの之を完成して配本するに至つたのは監修の任にある私の欣快とするところである。今之を世に送ることは獨り本全集の誇とするところなるのみならず、一般行政に貢獻するの多大であることを期して疑はない』と言つて居ら

れるが、本とうの所現今土木技術に携つてゐる人達は多くは法規は法規、技術は技術とケジメをつけて法制に無頓着で仕事をするために、時々事業の進捗と事務的處理とが齟齬矛盾を生じたり、行詰つて何うにもならなくなることが往々ある。私は技術者にも法制が何んな風になつてゐるか位は一通り心得て居てもらうと同時に事務に携る人にも技術的方面にも或程度の理解を持つてゐなければならぬと豫てから思つてゐたのであるが、今度出版された高等土木工學に田中氏の土木行政が加はつて、全國數萬の技術者の座右に置かれることは私の考えてゐたことが實現したもので、技術者のために洵に慶賀に堪えない。

田中氏は會て大正十五年秋、今まで何人も企て及ばなかつた「土木行政」なる單行本を公にして廣汎多岐に亘る土木行政の各部門につき微に入り細を穿つ學理と實際とを論述して世に問ふ所があつたが、その著書の賣行きが、此の種の著書中斷然一頭地を抜いて素晴らしいもので當時評判となつたものであるが、それは如何に土木行政に關する指針

書を渴望してゐたかを窺ふに足るパロメーターであつた。が、その後軌道法、土地收用法等が改正せられたりしたので、改訂再版が出ることを各方面から待望せられてゐたが、遂に其のことがなくて今日に至り、関係者には限りない頼りなさを感じさせられてゐたものである。ところが、今度高等土木工学の一部門として前著土木行政の改訂版と謂ふべきものが著されたのである。前述の軌道法、土地收用法改正による改訂は勿論其の他の法令の改廢による加除、所説の敷衍追加、それに新に制定せられた自動車交通事業法に對する論述を加ふるは勿論更に附録の名の下に土木行政に最も密接の關係を有する都市計畫法、電氣事業法にまで論述を及ぼして、前著書の殆んど全面に亘つて大改訂を加へ、收むる所道路、自動車道、軌道、河川、港灣、運河、水道、下水道、公の水流水面、砂防、土木事業に對する國家の助勢政策、土地收用の十二章に更に附録として都市計畫及電氣事業の二編を加へ、各章編共法制の沿革、概念等を記述して理路井然しかも誰が讀んでも直にその眞髓に觸

得る様に平易な述べ方を以て懇切丁寧に説き、之に多年の蘊蓄を傾注し獨自の所説を加へて法制を活用する方策を述べる等説き來り説き去つて餘す所がない。私は田中氏が、前々年來失業救済、産業振興、農村振興の各事業起興のため特に多忙になり更に本誌の編輯を殆んど一人で背負つてゐられる日常席温る暇のない様子を見て、これだけの大著述を何處で、何日物せられたかが不思議でならない。あの異常な精力と明徹した頭腦とが、我々の考え得られない著述の時を作つてゐられると見るの外なく、到底吾々凡庸の遠く及ぶ所でなく、唯々畏敬頓首の外ない。

牧博士の言の通り田中氏が我が土木行政の權威者であり而して前に著された「土木行政」の價値が既に世人の認むる所である以上その内容に完全なる改訂を加へて再び公にせられた今回の著が如何に貴重な得難いものであるかは今私が述べる必要はない。立派に單行本として公にせらるべきもので、寧ろ今回の全集の一部に加へられることが、變則であると考ええる。それをかく容易に手に入れ得た技

術者諸君はまことに幸運である。

何だか刊行せられた著書を見て批評を書くつもりでゐたが、頭から敬服してしまつて、なくもがなの提燈持ちをやつてゐる様になつた。批評と言ふものは何處か悪口を書かなければ納まりがつかないことに通り相場がなつてゐるさうだから氣になる所を一寸書いて置く。それは本書が土木工學の一部門として出された關係からだらうが、他の工學篇と同じやうに左開き本で、横組み活字で出来てゐることである。

法律書を見馴れた者の眼には羽織袴で靴を穿いてゐる様な氣がしてならない。それにもう一つは活字の形式のせいもあるかも知れぬが、小さく組んで非常にコセ／＼してゐる全集物として集約的に収録するために、且つは浩瀚な土木行政各般に亘る記述とを型に嵌つた出版に詰め込まうとするために止むを得なかつたのかも知れぬが、内容の充實してゐる點から見てもいかにもみすばらしく感じる。著者は適當の機會に實務に便するやうに判決例や當該官廳の通牒等

をも加へて更に單行本として出版したいと言つてゐられるが、その機會の一日も早く來らんことを祈ると同時に、その時は遠慮しないで少くとも内容の充實に比較して見劣りのしない程度のガツチリとした體裁にして世に出されんことを希望する。

感想

(自力更生)

往くも道還るも路の力なり

開ひて通れ四方の人々

大井野修路團長 竹本忠治郎